

需要家向けヒアリング項目

- (1) 国際的イニシアティブ（CDP、SBT、RE100）の取組状況について
参加している国際的イニシアティブでは、何の電気の排出係数に基づいてGHG排出量を算定しているか（GHGプロトコルまたは温対法等）。
- (2) GHGプロトコルスコープ2ガイダンスについて
 - ① スコープ2ガイダンスの内容（算定方法等）について認識しているか。スコープ2ガイダンスの内容で不明瞭な点はあるか。
 - ② スコープ2ガイダンスと温対法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の違いを認識しているか。
- (3) GHGプロトコルスコープ2ガイダンスに対応した電気のGHG排出量の算定について
 - ① スコープ2ガイダンスで規定されている証書類の品質基準について、契約電力の消費期間となるべく近い時期に発行された証書を償却することが推奨されているが、実務上の問題点や課題はあるか。
 - ② CDPに報告している場合、GHG排出量の算定に使用する電力使用量と排出係数の対象年度は合わせているのか。対象年度が異なっている場合、懸念点等はあるか。
 - ③ ロケーション基準手法にてGHG排出量を算定する場合、日本においては原則として温対法に基づく全国平均係数を使用することになるが、それ以外に使用している係数はあるか（例：IEAのデータ等）。
 - ④ マーケット基準手法にてGHG排出量を算定する場合、小売電気事業者からスコープ2ガイダンス対応の排出係数を入手することになるが、その際の懸念点等はあるか。
- (4) 再生可能エネルギー（電気）の調達と価値の主張について
国内における再エネ調達手法の図（資料6 P.10 参照）について、各分類における不明瞭な点はあるか。また、自社で調達している再エネと再エネ調達方法の図との齟齬はないか。
- (5) 需要家向けガイダンスへの要望について
需要家向けガイダンスに特に盛り込んで欲しい内容や整理すべき点等はあるか。